

# 事業評価票

<b>287</b> <b>288</b>	<b>車両用・歩行者用信号灯器のLED化</b> (警視庁交通部／一般会計)	事業開始	平成 14 年度
		事業終期	平成 28 年度

### 【局評価】

**1 どのような経緯で事業を始めたか、何を指すのか**

○ 国は「地球温暖化対策推進大綱」に基づき地球温暖化対策を推進していたところ、京都議定書の発効を受けて「京都議定書目標達成計画」が新たに策定され、その中で警察が行う施策として、信号灯器のLED化が定められた。

○ これを受け、平成14年度から車両用、18年度から歩行者用の全信号灯器について、電球式からLED式への転換事業を開始した。

**根拠法令等**

**2 どのように取り組み、どのような成果があったか**

○ 信号灯器のLED化により、消費電力が低減されたとともに、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>の削減にも効果があった。

○ また、西日等の太陽光による疑似点灯現象が解消され、視認性が向上したことによる交通事故防止効果や、信号灯器の長寿命化などに効果があった。

**3 どのような課題や問題点があったか**

○ 都内全ての信号灯器（約15,000か所）をLED化するため、規模・経費ともに膨大となることから、既定計画では、平成32年度に実施完了としていた。

○ 東日本大震災を受けて策定された東京緊急対策2011において、電力危機突破のための緊急対策による補正予算を計上し、大規模な追加のLED化対策を実施したことにより、計画完了を28年度に前倒した。

**4 局として、事業をどうしていきたいか**

拡大・充実	見直し・再構築	<b>移管・終了</b>	その他
-------	---------	--------------	-----

○ 予定通り平成28年度に全ての信号灯器について、LED化を達成できる見込みであることから、本事業を終了する。

<b>歳入</b>	27年度決算額	93,349 千円	<b>歳出</b>	27年度決算額	2,281,170 千円
	28年度予算額	— 千円		28年度予算額	2,912,208 千円
	29年度見積額	— 千円		29年度見積額	— 千円

### 【財務局評価】

**5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか**

○ 信号灯器のLED化により、消費電力やCO<sub>2</sub>の削減に効果があったことはもとより、光熱水費の低減や電球交換作業が不要となったことなどによる維持管理コストの低減にも寄与した。

○ 維持管理費の比較（年間・1か所あたり）

(単位：円)

区 分	電球式	LED式	増△減
維持管理費	103,196	32,776	△70,420
うち電力料	93,067	29,382	△63,685

**6 29年度予算で、どのように対応したか**

拡大・充実	見直し・再構築	<b>移管・終了</b>	その他
-------	---------	--------------	-----

○ 計画達成が見込まれることから、本事業を終了する。

<b>歳入</b>	29年度予算額	— 千円
<b>歳出</b>	29年度予算額	— 千円